

がん検診を受けましょう

市内の平成20年度がん検診(胃がん、肺がん、大腸がん)の受診率は、約10%(40歳以上)で、そのうち40歳代については、約5%の方しか受診されていないのが実情です。

女性特有の乳がん・子宮がん検診については、さらに受診率が低く、乳がんは2.6%、子宮がんは3.4%で、特に子宮がん検診については20歳代で0.4%、30歳代では2.5%と若い年齢層の方が少ない状況です。

そこで、今号では、がん検診の大切さと受診方法などについてお知らせします。

健康推進課 ☎67♦1151

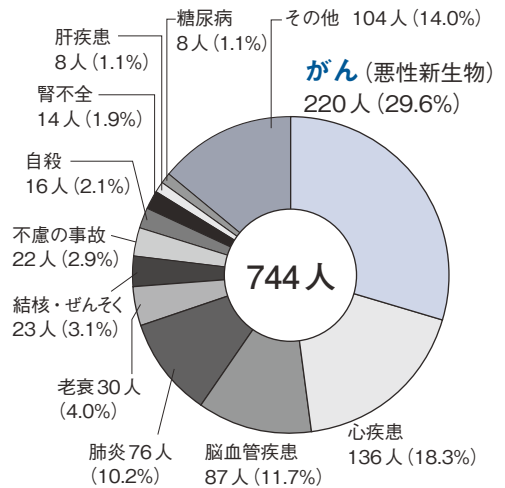
早期発見のためにがん検診の受診を

市民のがんによる死亡者数は、220人(平成20年度)で、昭和56年以降死亡原因の第1位となっています。死亡者の約3人に1人はがんで亡くなっています。

平成20年度の市のがん検診で、33人の方からがんが発見されました。そのうち子宮がんは3人で、うち1人が30歳代の方でした。子宮がん(頸がん)の原因はウイルス感染で、20~30歳代に急増していますので、20歳になったら子宮がん検診を受けるように心がけましょう。

がんは早期に発見し適切な治療を受ければ完治の可能性があります。がんの早期発見のために、がん検診を受けましょう。

平成20年度蒲郡市死因別死亡者数(率)



がん検診を受診するには

がん検診は、市内の医療機関で受けることができます。検診を希望される場合は、保健センターまでご連絡ください。なお、受診できる対象者は、次のとおりです。

がん検診の種類	対象者 ※平成22年3月31日現在の年齢	内容	自己負担金
胃がん検診	40歳以上の市民	上部消化管X線検査または胃カメラ	2,700円
肺がん検診		胸部X線撮影(必要により喀痰検査)	1,000円
大腸がん検診		検便(便潜血検査2日法)	500円
前立腺がん検診	51歳以上の奇数年齢の男性市民	PSA検査(血液検査)	1,000円
乳がん検診	40歳以上の女性市民(平成20年度に受診していない人)	視診・触診・乳房X線検査	1,500円
子宮がん検診	20歳以上の女性市民(平成20年度に受診していない人)	視診・内診・細胞診	1,800円

※生活保護および市民税非課税世帯の方、後期高齢者医療該当の方、70歳以上の方は無料です。

(受診までの手順)



①保健センターへ申し込む。



②受診票が届いたら、医療機関へ受診日を予約する。



③受診票を持って医療機関に受診する。



④「受診結果」と「自己負担金の納入通知書」が届いたら、指定の金融機関で入金する。